

近時往来

一九九一年度

会長 福田 晃

まず森本茂さんが、名著『大和物語の考証的研究』によって文学博士（論文博士）の学位を取得されたことにお祝いを申したい。その審査の一員として、その注釈的研究の醍醐味を感じさせていたたくとも、その研究が、恩師・清水泰先生の教導であったことを知り、深い感銘を受けた次第である。また森本さんは、右の研究は、健康を害され、人工透析を週三回受けながらの成果と聞く。その気力のみごときに、満腔の敬意をお届けする。

次に、今春、小林幸夫さん（東海学園短期大学）、丸山顕徳さん（花園大学）、木股知史さん（甲南大学）が、それぞれ新任・転任された喜びをお伝えしたい。いずれも、その学問・研究の実績が認められてのことと聞く。かつてわれわれは、官学

（旧帝大）の大学人事に及ぶ学閥の底力に、憤り、嘆き、恨みをしばしばおぼえてきた。が、その時代はようやく去って、実力あるエリートが迎えられる世は間近にある。若い研究者の希望の星として、三人の栄転に心からの拍手を送りたい。

専攻の研究室に襲撃できることとなった。森本さん、どうぞ、この愛蔵本を通して、わが日本文学専攻の行方をお守りください。

最後に悲しみも申し添えねばならぬ。それは、昨年、森本修さんが亡くなられたことである。まるで本学・日本文学専攻の主のごとき存在として、長く、その教学に尽力された森本さんとは、わたくしも十余年にわたって同僚としておつき合っていた。まことに飾りのない、嘘のない、実直な、その人柄は、決して忘れ得ない。はからずも奈良教育大学に送り出すことになったが、本学への思いはやはり大きくあられたと聞く。さもありなん。さいわい、ご遺族のご好意により、森本さんが長年にわたって収集なさった芥川龍之介関係の貴重本が、わが日本文学

一九九二年五月二十五日印刷  
一九九二年五月三十日発行

論究日本文学 第五十六号

編集兼 立命館大学日本文学会  
発行者 福田 晃

印刷所 京都市上京区  
上長者町黒門東入  
西村印刷株式会社

発行所 京都市北区等持院  
北町五六の一  
立命館大学日本文学会

本会への入会申込・会費の払込はすべて左記へお願い致します。なお、領収証は振替払込票をもって、これに代えさせて頂きます。

会費

三〇〇〇円（卒業生・大学院生）  
二〇〇〇円（学部学生）

〒633 京都市北区等持院北町五六の一  
立命館大学文学部内  
立命館大学日本文学会  
振替 京都〇一三八八三番